

くに流れていた川でよく洗いました。

その洗った場所を、かみの方から上荒井、かみあらい中荒井、なかあらい下荒井しもあらいと呼ばれる地名になったといわれております。

こうして、首をとってきただ役人たちは、ようやく越後国蒲原郡えちごのくにかんばらぐんに入りました。蒲原郡に

近づいて来るにしたがつ

てかや株の中の首が、重

くなってきました。

役所に着いたので、く

ずつるを切つてかや株を

開いてみました。そこに

は、切ってきたはずの人

間の生首ではなく、観音

